



# 光 和

11月号  
練馬区立光和小学校  
令和6年10月31日

光和小  
携帯サイト



充実した秋を

校長 矢島 直行

今年は10月に入っても暑い日が続きましたが、校庭の木の葉もようやく色づき始め秋を感じられるようになりました。秋は、「スポーツの秋」「読書の秋」「芸術の秋」とも言われます。また、「食欲の秋」でもあります。

なぜ食欲の秋なのでしょう。言葉の由来には諸説ありますが、秋は気温が下がって過ごしやすくなり食欲が増すとともに旬となる食材も多く、おいしく食べることができる季節となります。昔はビニールハウス栽培が行われていなかったため、収穫した野菜は旬の時期にしか食べることができませんでした。このようなことより食欲の秋と呼ばれるようになったと言われます。

校長は子供たちが給食を食べる前に検食をします。塩分や辛さ、魚や肉の焼き具合、野菜などの切り具合、髪の毛などの異物が混入していないか、箸やスプーンの提供について子供が食べる際に適しているかなど、献立のバランスや安全面、味付けなどを確認します。検食後、子供たちの配膳の様子を見てまわります。その際、会った子供たち（特に低学年の子供たち）から「給食はどうでしたか」と、よく聞かれます。「今日の給食もとてもおいしいですよ」と答えています。子供たちにとって給食がいかに楽しみなのかが分かります。子供たちの中には、栄養士にレシピをもらいに来る子供たちがいます。光和小学校の給食は、季節に相応しい工夫された献立が出されています。先日10月15日（火）は十三夜にちなんだ「さつまいものごま団子」が出ました。十三夜は、十五夜の次に美しいとされています。給食では団子とともに秋の食べ物であるさつまいもを使用しました。子供たちは給食から秋を感じることができます。これからも季節を感じることができる給食を子供たちとともに、教職員も楽しみにしています。

先日行われました運動会では、どの学年の子供たちも練習の成果を十分に発揮することができました。特に本校の伝統である6年生のマーチングでは、小学校生活6年間の成長した姿を見ることができました。練習する6年生の姿を下校する1年生が見て、「6年生になったら僕たちがやるんだ」と話していました。「6年生は、学校の顔」と言われるように、6年生の姿が下級生の良いお手本となり下級生を育てていきます。

11月29日（金）、30日（土）には、音楽会が開催されます。音楽会は、一人の力だけではなく、学年のみんなが力を合わせることにより、美しいハーモニーを奏でることができます。各学年がどのような演奏をするのかを楽しみにしています。

子供たちは4月からこれまでさまざまな行事を通して成長しました。特に子供たちは秋の行事を経験して、身体だけでなく心もさらに成長しています。植物は秋が実りのゴールとなりますが、子供たちは引き続き経験を積み重ね、さらに成長し続けていきます。今後も一つ一つの行事を通して、子供たちに達成感を味わわせ大きな成長につなげていけるように努めてまいります。